熱波甲子園春秋CC共通・本規約参戦誓約書

本規約・熱波甲子園参戦誓約書（以下「本規約」という。）は、主催者・日本サウナ熱波アウフグース協会（以下「主催者」という）が開催する熱波甲子園（以下「本大会」という。）への参加条件及び参加者が遵守すべき事項を定めることを目的とする。

第1条（目的）

本規約は、本大会に参加するすべての者（以下「参加者」という。）が、安全かつ円滑に大会を運営するために必要な事項を定め、主催者及び参加者双方の権利義務関係を明確にすることを目的とする。

第2条（適用範囲）

本規約は、本大会への参加申込を行った時点から、本大会終了後においても、有効に適用されるものとする。

第3条（参加資格）

・日本サウナ熱波アウフグース協会に大会前月までに加盟施設・個人であること。

・参加者は、全員開催前月の段階で熱波師検定ＳＵＳ以上を認定済み、または大会開催翌月までの検定ＳＵＳを予約済みであること。（確認できない場合や大会翌日までに受講しなかった場合は無効）

・大会競技ルールを遵守をできること。

第4条（参加申込及び参加承諾）

1 参加者は、主催者が指定する方法により参加申込を行うものとする。
2 主催者が当該申込を承諾した時点で、参加者と主催者との間に本規約に基づく契約関係が成立するものとする。

第5条（遵守事項）

参加者は、本大会の参加にあたり、以下の事項を遵守するものとする。
(1) 競技規則、運営ルール及び主催者の指示に従うこと

・演舞では著作権の発生する音源を使用しないこと。また、通常のサウナで使用できないもの、火気・電気電池を使用するもの（ハンドスピ–カーを除く）を持ち込まないこと。

・アロマやその他「香り」は審査対象とならない。

(2) 他の参加者、観客、関係者に対し迷惑行為又は危険行為を行わないこと

(3) 法令、公序良俗に反する行為発言を行わないこと

・熱ッスルにおける度を越した人格否定、脅迫、侮辱などの言葉を使わないこと。

(4) 主催者が大会運営上不適切と判断する行為を行わないこと

・実際のサウナ施設で使用不可能なものを持ち込まない。使用しない。（安全・衛生・消防上）

第6条（健康状態及び自己管理）

1 参加者は、本大会に参加するにあたり、自己の健康状態に問題がないことを自ら確認し、自己の責任において参加するものとする。
2 大会参加中に体調不良又は異常を感じた場合には、直ちに競技を中止し、主催者又は大会関係者に申し出るものとする。

第7条（事故・負傷等に関する責任）

1 参加者は、本大会参加中に発生した事故、負傷、疾病、後遺障害又は死亡等について、主催者に故意又は重過失がある場合を除き、主催者に対して一切の責任追及を行わないものとする。
2 参加者は、自己の責任において必要な保険に加入するものとする。

第8条（損害賠償）

参加者が本規約に違反し、又は自己の責に帰すべき事由により、主催者又は会場、または第三者に損害を与えた場合には、当該参加者は、その損害を賠償する責任を負うものとする。

第9条（肖像権・映像等の利用）

参加者は、本大会において撮影された写真、映像、音声、記録等について、主催者が広報、記録、広告、報告その他大会運営上、ＰＲ上必要な目的で無償利用することをあらかじめ承諾するものとする。

・予め主催者に許可なく動画・画像の撮影、音声の録音等を禁止する。

2 当該利用にあたり、参加者は、肖像権又はパブリシティ権に基づく異議申立てを行わないものとする。

第10条（大会の中止・変更）

1 天候、災害、事故、感染症の流行、その他主催者の責に帰さない事由により、本大会の全部又は一部を中止又は変更する場合がある。
2 前項の場合において、参加者に生じた損害について、主催者は一切の責任を負わないものとする。

第11条（参加取消・失格）

主催者は、参加者が本規約に違反した場合、又は大会運営上不適切と判断した場合には、事前の通知なく参加取消又は失格とすることができるものとする。

第12条（連絡手段）

参加する施設の代表、団体の代表、個人に熱波甲子園LINEを通じて大会に関する情報を共有するものとする。

第13条（衣装）

個人会員は温浴施設の名称やブランドの入ったTシャツなどの衣装を着用して参戦することはできない。また施設チームは自店舗の名称やブランドの他、無地の衣装のみ着用できる。

第14条（個人情報の取扱い）

主催者は、参加者から取得した個人情報を、本大会の運営及び関連する目的の範囲内で適切に取り扱うものとする。

第15条（規約の変更）

主催者は、必要と判断した場合には、本規約を変更することができるものとし、変更後の規約は、主催者が定める方法で告知した時点から効力を生じるものとする。

第16条（準拠法及び管轄）

本規約は日本法を準拠法とし、本規約又は本大会に関して生じた紛争については、主催者の所在地を管轄する地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

本誓約書の内容を十分に理解し、その内容に同意したことを証するため、以下に代表者の署名を押印します。

※本誓約書を印刷し、自筆・自署でご記入の上、ご提出ください。

誓約日 _____年 ____月 ____日

参戦大会 _____年 春・秋・CC

施設名 _____

代表者氏名（個人の場合個人名） _____ 印